

## 将来ビジョン及び必要な取組・事業

<b>提案主体名</b>	松本市、株式会社三菱総合研究所	※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。				
<b>提案プロジェクト名</b>	健康寿命延伸都市・松本の創造に向けたプラチナイノベーションによる新需要創造	※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。				
<b>対象地域</b>	<b>都道府県名</b>	長野県 ※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。				
	<b>市町村名</b>	松本市 ※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。				
<b>① 関連する分野</b>	環境（ 超高齢化（健康・福祉） その他（ ）	※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。				
<b>② 将来ビジョン（環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標（2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿））</b>						
<p style="text-align: right;">※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。</p> <p>松本市では、現在、「健康寿命延伸都市・松本」の創造を基本戦略としてさまざまな政策を実施している。これは超少子高齢型人口減少時代において、地域社会が持続していくための総合的な取り組みであり、市民を取り巻くあらゆる環境を見直し、身体的・精神的・社会的な健康水準を高めることを目的としている。松本市は、他の多くの地方都市と同様すでに人口減少・少子化・超高齢化社会に突入しており、このままなら対策を打たずに座していれば地域経済は縮小する一方である。また、松本は製造業の集積地でもあるが、国内外需要の低迷やアジアなど新興国の台頭により、大変厳しい状況に置かれている。一方、現在、日本は3つの大きな課題を抱えている。第一は、地球規模の環境問題であり、その次は高齢化の問題である。3つ目は需要不足であり、これがわが国の閉塞感の根源にある。一般に、生活に必要なモノが一通り揃っている先進国では、技術革新による生産性の向上と新興国からの安価な輸入品の増大が相俟って、慢性的な需要不足状態にある。わが国の都市は、中央、地方に限らず極めて深刻な需要不足にあえいでおり、脱却のための社会モデルを求めている。世界でも持続可能な新たな社会モデルを模索しており、「地球環境問題を解決した元気な超高齢社会」が21世紀の社会モデルといえる。三菱総合研究所では、これら2つの課題を高いレベルで解決した社会を「プラチナ社会」と命名することにした。この「プラチナ社会」の実現は、まさに「健康寿命延伸都市・松本」の創造と将来ビジョンを共有するものである。</p> <p>プラチナ社会あるいは「健康寿命延伸都市・松本」を実現することは、健康で快適な社会を創るということであり、寝たきりや介護を要する期間をできるだけ少なくし、豊かに暮らせる時間を増やし、高い生活の質を維持するような社会である。そのためには、医療・健康、環境、教育、インフラ整備・維持管理等の分野で解決すべき課題が膨大にある。これまで、わが国では、こうした分野は産業ではなく、社会コストとしてとらえられてきたが、より快適な社会を創るために使うお金は、コストではなく、投資と考えるべきであり、その投資が持続するには産業として成立するようにする必要がある。それには、民の活力を活用することももちろん、規制緩和、制度や技術基準の見直し、リクス資金の調達や公的助成、既得権益者との調整等、官の役割も重要である。これらの取り組みにより新たな需要や産業を創造する「プラチナイノベーション」を目指す。</p>						
<b>③ 将来ビジョン（②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方）</b>						
<p style="text-align: right;">※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。</p> <p>松本市のポテンシャルを活かした「健康寿命延伸」をキーワードとする「健康産業」を大きな軸に、それに関わる周辺産業を充実、深化させることで地域経済を活性化させ、真に持続可能な産業モデルの構築を目指す「健康寿命延伸都市・松本の創造に向けたプラチナイノベーション」による新需要創造事業を推進する。なお、21世紀における健康を、①単に病気を寝たきりというだけではなく（生理的欲求）、②社会との結びつきをもって（親和的欲求）、③活動的な生活を送ること（承認的欲求）と定義し、健康寿命延伸が目指す将来像として、①要介護・寝たきりの人が少ない、②孤立した市民が少ない、③活動的な生活を送る人の割合が多い都市づくりを目指す。</p> <p>上記の目標を達成するために、①食事、②運動、③社会参加、④節制）ごとに必要な制度・ソフト、施設・インフラ・まちづくりを行う。</p>						
<b>④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業（技術・システム、サービス、仕組み等）</b>						
<b>番号</b>	<b>取組・事業の名称</b>	<b>取組・事業の概要</b>	<b>取組・事業の期間</b>	<b>実施主体・運営主体</b>	<b>価値、分野の種類</b>	<b>国の支援の必要性</b>
	※異なる名称を付けてください。		※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。		※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を（ ）内に記入してください。	
(1)	ITを利用した予防型・個別型健康サービス事業	履歴を活用した個別化・マネジメントサービスにより食事・運動を中心に生活全般をサポートし予防医療につなげる。多様な履歴情報を収集し（モニタリング）、個別に最適化しアドバイス・情報提供を行う（マネジメント&サポート）事業を行う。	2011年度～2015年度	産業集積地と社会実験サテライトを含めたコンソーシアムを組んで実施する予定	超高齢化、健康・福祉	○
(2)	プラチナモビリティ(高齢者用パーソナルモビリティ)事業	アクティブな高齢社会を実現するための交通システムを確立する。高齢者の近距離生活圏で「自動車」と「車いす」の間のモビリティシステムを開発する。高齢者が活動的になることで、消費の活性化、医療費・介護費の削減、行政コストの削減、生活の質の改善が期待される。	2011年度～2015年度	産業集積地と社会実験サテライトを含めたコンソーシアムを組んで実施する予定	超高齢化、健康・福祉	○
(3)	生活支援型ロボットの実用化事業	生活支援型のロボットを活用することにより、介護等の負担を軽減し、高齢者の自律を促す。なお、ここで生活支援型ロボットとは、ヒューマノイド型のロボットではなく、歩行訓練を支援する機器や介護の補助をする機械などである。これにより、要介護者そのものの削減や介護者の負担を軽減することを狙っている。	2011年度～2015年度	産業集積地と社会実験サテライトを含めたコンソーシアムを組んで実施する予定	超高齢化、健康・福祉	○
(4)	大学連携型プラチナコミュニティ事業	大学をシニアを含めた地域住民の生涯教育の場とするだけでなく、海外からの観光客が滞在し、日本の文化・文学・伝統と最先端の産業技術が学べる場として、環境・健康・観光・教育のプラチナ4K産業を創造する。	2011年度～2015年度	産業集積地と社会実験サテライトを含めたコンソーシアムを組んで実施する予定	超高齢化、健康・福祉	○
<b>⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容</b>			※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。			
<p>本事業では、プラチナ社会・健康寿命延伸都市を実現する手段として、21世紀のMade in Japan の産業集積を促進し、松本市においてその効果を実証する計画である。具体的には、ITを利用した予防・個別サービス事業、生活支援型ロボットの実用化事業、プラチナモビリティ(高齢者用パーソナルモビリティ)事業、自然環境資源を活かした療養・介護事業、人と情報の安全・安心ネットワーク事業、アグリ・フード事業を想定している。このため、本事業が立ち上がった際には、①IT利用を利用した予防医療・健康増進関連産業、②生活支援型ロボット産業、③介護の質の向上と高齢者への雇用拡大、④住宅・施設への機器導入に関するインフラ産業、⑤各種のリース・メンテナンス産業、⑥アグリ関連産業などが確立し、新産業と雇用創造などを狙う。</p> <p>健康で活動的な社会を実現することは、高齢化問題（社会保障費増大、経済活動の低迷等）の解決が根幹である。</p> <p>高齢化問題は、10年後にはアジアも含む世界の問題となるため、この解決を産業化することができれば、日本の長期的な成長戦略となる。市場規模は国内だけでも10兆円規模、世界市場はその数倍は下らない。ただし、その産業化は従来の「単品売り」のモノづくりでは不可能であり、種々の社会制度の改変、標準化、規格化、安全基準、認証機関を含む社会システム産業である。本提案は、そうした産業化に必要な課題をパッケージで解決し、健康産業を21世紀のリーディングインダストリーにすることを狙う。</p>						